

第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 14010050

政策目標	2	めぐもり・雄武～保健・医療・福祉の充実～	会計区分	3	国保病院事業会計	【全体計画内容】※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	6	保健・医療の充実	事業優先度	B		
単位施策	5	地域医療体制維持の推進	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)		
事業名	病院車両更新事業		見直し年度			
事業期間	平成25年度～平成28年度		担当課	14 国保病院・老健施設		
事業主体	雄武町		関係課	#N/A		
事業指標	病院車両の更新		関係課	#N/A		
事業目標	3台		ハード/ソフト 事業区分	1 ハード事業		
住民参加	無		関係例規・法令名			
住民協働			関係個別計画名			

全体計画 事業内容		平成 25 年度 事業内容	平成 26 年度 事業内容	平成 27 年度 事業内容	平成 28 年度 事業内容	平成 29 年度 事業内容		
計 画 内 容	●病院公用車両の更新 2台 医師送迎車両及び在宅指導用車両 各1台	●医師送迎車両の更新			●患者輸送バスの更新 1台	●在宅指導用車両及び医師送迎車両の更新		
	●患者輸送バスの更新 1台							
計 画 事 業 費	事業費(千円)	16,850	4,400	0	9,000	3,450		
	財源内訳							
	国庫支出金	610			610			
	道支出金	0						
	地方債	11,700			8,300	3,400		
	その他	0						
実 績 事 業 費	事業費(千円)	10,857	3,885	0	6,972	0		
	財源内訳							
	国庫支出金	0	0					
	道支出金	0	0					
	地方債	6,000	0		6,000			
	その他	972	0		972			
関 連 事 項	特定財源の名称 過疎債 企業債(病院債)	【評価・実績】	(実施内容等) ●医師送迎車両更新 1台	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等) ●患者輸送バスの更新 1台		
			※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果 A-維持/現状維持	※事務事業評価結果	
	前期計画からの継続 (継続有り)		年度目標値	1台			1台	1台
	第6期計画への継続 (継続有り)		年度達成率	88%	#DIV/0!	#DIV/0!	77%	0%
			全体達成率	23%	23%	23%	64%	64%
	備考欄							

事業名	病院車両更新事業	評価者 管理職 職氏名	国保病院事務長	高橋 健仁
		評価者 作成者 職氏名	国保病院事務次長	河原 学

様式1
平成28年度実施
平成29年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	雄武町民(受診者)	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)		
【抱える課題やニーズは】	診療時間帯並びに地理的要件から、公共交通機関や自家用車での通院が困難となっている受診者に対し、定期送迎等により通院負担の軽減を図る必要がある	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値	
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	受診患者に対する移動負担の軽減や、待ち時間の短縮が図られる	① 患者輸送バス更新	目標年度	平成28年度
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	受診環境の充実により、安定かつ快適な医療サービスの提供が図れる		目標値	1台
			実績値	1台
			達成度	100.0%
		②	目標年度	平成28年度
			目標値	
			実績値	
			達成度	#DIV/0!%
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	患者輸送バスの更新(1台)	入札による事業執行		

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	町内遠隔地の患者に対する移動手段として、必要な事業である
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	安全性及び快適性の向上が図られたことから有効である
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成	
有効/概ね有効	<input type="checkbox"/> ほぼ達成	
課題あり	<input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	購入費等の精査並びに入札執行により、事業費の抑制が図られた
	<input type="checkbox"/> 事業費抑制	
	<input type="checkbox"/> 人員削減	
効率的/概ね効率的	<input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減	
課題あり	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

公平	判断の理由	現状において、各種サービスを用いても通院が困難な患者を送迎するための車両行進であり、公平性については支障ない
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がない	
公平/概ね公平	<input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る	
公平でない	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
通院不利地域の患者に対する移動手段として、計画どおり患者輸送用バス1台を更新した。		

今後の展開方向
(Action)

継続/現状維持		
医療関係車両については、導入から相当年が経過しており、維持経費の圧縮及び安全面からも計画的な更新が必要である		

※展開方向の区分
○継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
○終了 ○休止 ○廃止